元気　友達　笑顔　いっぱい　かがやく

令和５年２月号

小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西１丁目６９番１号　TEL045(775)3011

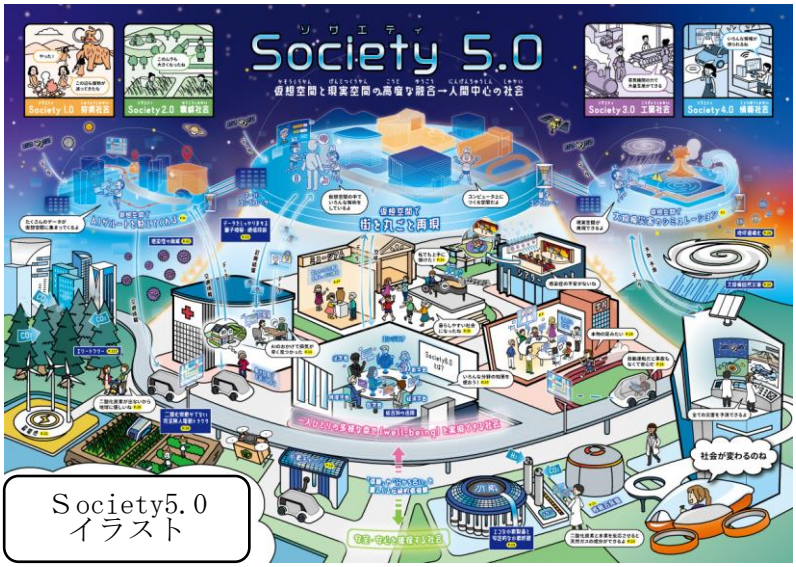
http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/　　横浜市立小田小学校

Ｓｏｃｉｅｔｙ（ソサエティ）５．０（超スマート社会）について

校 長　中川　浩二

令和５年がスタートし、年頭に新たな目標を立てて、過ごしている方も多いと思います。社会でも、さまざまな分野で「2023年の展望」について語られています。今回の学校だよりでは、2023年よりもっと先のことですが、国が提唱している未来社会Ｓociety5.0について書いていきます。

【Ｓociety5.0とは】
①Ｓociety1.0（狩猟社会）
②Ｓociety2.0（農耕社会）
③Ｓociety3.0（工業社会）
④Ｓociety4.0（情報社会）
⑤Ｓociety5.0（超スマート社会）



Ｓociety5.0
イラスト

人類の社会の変遷をふりかえると、動物の狩猟を中心とした狩猟社会に始まり、農耕の普及によって農耕社会に、そして蒸気機関等の発明により工業社会となり、ICTの進展により現在のＳociety4.0(情報社会)となります。この情報社会では、インターネットが普及して、世界中の人々と同時に交流することができるようになりました。また、ネットワークにより、さまざまな情報をすぐに知ることができ、便利な社会になっています。

次は、国が提唱している未来社会Ｓociety5.0（超スマート社会）です。最先端の科学技術を用いて、コンピューター上の「仮想空間」をつくり、人工知能（AI）などを活用して、シミュレーションによる高度な解析、予測・判断を行います。この結果を私たちが暮らす「現実空間」へと反映させることによって、社会をより良い「人間中心の社会」に変えていくことを目指しています。

このような未来社会Ｓociety5.0（超スマート社会）は、今の子どもたちが大人になったときの社会になるでしょう。では、子どもたちは、どのような力を身につけていくことが必要なのでしょうか。これからも社会が激しく変化し続け、価値観の多様化がすすんでいくことが予想されます。その中で、人工知能（AI）をはじめ最先端の科学技術を賢く活用し、より良く生きていく上での「考える力」を伸ばしていくことが大切ではないかと考えます。

この「考える力」の具体例として、よく検討・理解してから考え方や情報を取り入れる「批判的に考える力」、過去や現在をもとに他者と共有しながら「未来像を予測して計画する力」、人・もの・社会・自然などを「多面的、総合的に考える力」、自分の考えを伝え、他者の考えを尊重しながら、より良い解を求めていく「コミュニケーションを行う力」などがあげられます。

これらの力をまとめると「持続可能な社会の創造に貢献する力」と言い換えることができるのではないかと考えます。授業等の教育活動を通して、この力を伸ばしていけるよう努めてまいります。

【参考】
YouTube　「動画でわかるＳociety5.0 令和３年版 科学技術･イノベーション白書　文部科学省」